

2021年3月14日

第1回 三陸マリンカレッジ



釜石でとれる魚

釜石市立釜石中学校 1年

川端 海惺

研究のきっかけ

鉄と魚とラグビーのまち釜石



第13回 鉄の検定 100点
アイアンマスター獲得

釜石の魚について

あまり知らない

釜石にいる魚を
しらべたい



釜石シーウェイブスジュニア
6年生までFWで活躍。

釜石が好漁場の理由

三陸沖は寒流の親潮（千島海流）と暖流の黒潮（日本海流）がぶつかる潮目があり、魚が多く集まりやすい。また、えさとなるプランクトンが豊富で魚が繁殖しやすいため、好漁場となりやすい。

調べ学習の内容

- ・ 岩手県水産技術センター大漁ナビ
釜石でとれる魚を調べる。
- ・ 釜石魚市場水揚げ統計 主要5魚種を10年前と比較。
- ・ 甲子のさけふ化場見学。
- ・ 宮古魚市場見学。

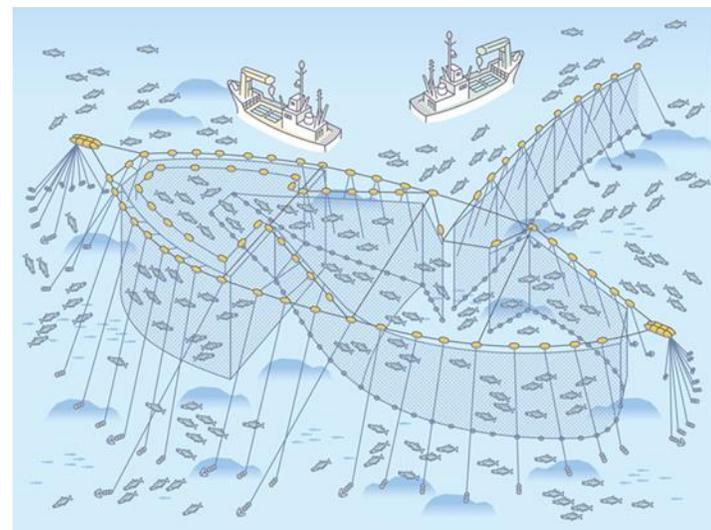


釜石でとれる魚

(岩手県水産技術センター 大漁ナビより)

○定置網にはいる主な魚

クロマグロ、カツオ、その他のカツオ（ソーダカツオ）、**アキサケ**、**サクラマス**（ママス）、**マイワシ**、カタクチイワシ、**サバ類**（マサバ、ゴマサバ）、サワラ、マアジ、シイラ、**ブリ**、その他のブリ類（ヒラマサ）、マコガレイ・マガレイ、その他のカレイ類（アカガレイ、ソウハチ）、マダイ、タナゴ類、ヒラメ、マダラ、スケトウダラ、アイナメ、エゾイソアイナメ（ドンコ）、ホッケ、アンコウ類、クロソイ、その他のソイ類（マゾイ）、カワハギ類（カワハギ、ウマズラハギ）、**マンボウ類**、**スルメイカ**、**ヤリイカ**、**タコ類**（マダコ、ミズダコ、ヤナギダコ）



定置網

○磯建網にはいる主な魚

その他のカツオ、マイワシ、**サクラマス**（ママス）、**サバ類**、マアジ、**ブリ**、その他のブリ類、タナゴ類、ヒラメ、マコガレイ、マガレイ、その他のカレイ類、アイナメ、メバル類、クロソイ、その他のソイ類、カワハギ類、アナゴ類、ヤリイカ、タコ類

○小延縄にはいる主な魚

ババガレイ（ナメタガレイ）、マダラ、スケトウダラ、**エゾイソアイナメ**（ドンコ）、アイナメ、**アナゴ類**、その他のカニ類（クリガニ、ヒラツメガニ）

○底刺網にはいる主な魚

サバ類、タナゴ類、マコガレイ、マガレイ、**ババガレイ**（ナメタガレイ）、その他のカレイ類、**マダラ**、スケトウダラ、アイナメ、メバル類、クロソイ、その他のソイ類、ケガニ

○まき網にはいる主な魚

マイワシ、サバ類

○いさだ船びき網にはいる主な魚

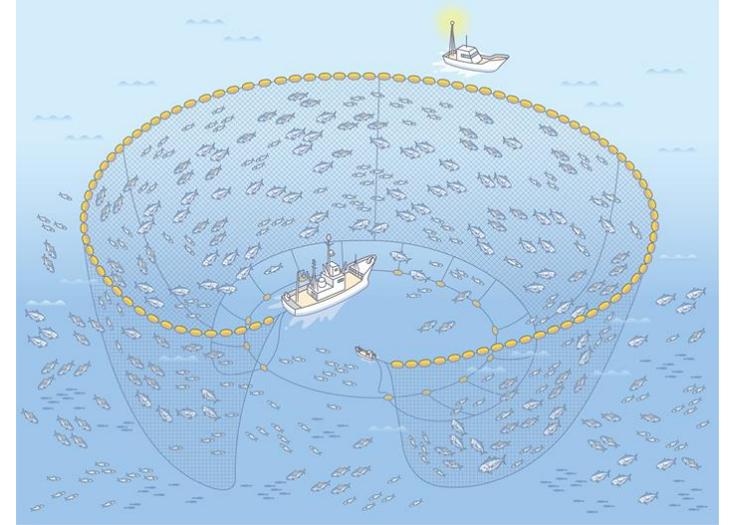
ツノナシオキアミ（イサダ）

○こうなご棒受網にはいる主な魚

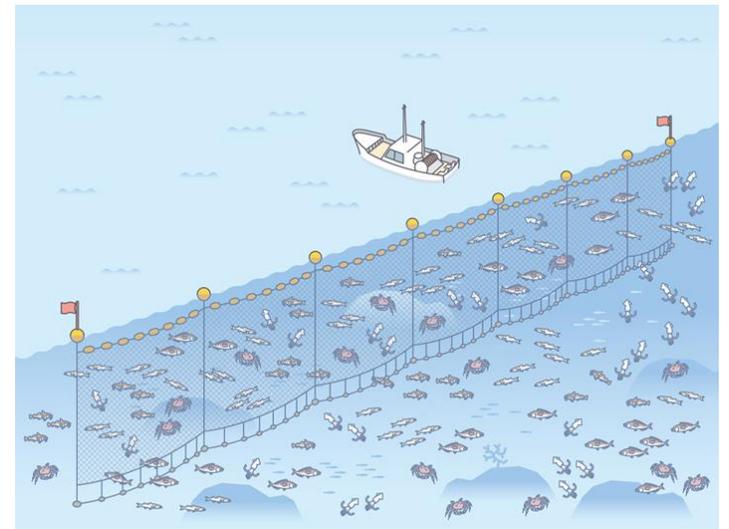
イカナゴ（コウナゴ）

○さんま棒受網にはいる主な魚

サンマ



まき網



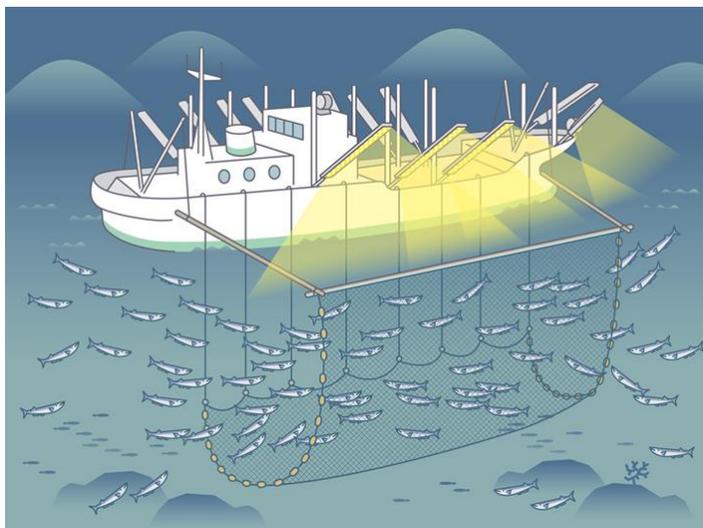
底刺網

○かご漁にはいる主な魚

ケガニ、タコ類

○突き棒漁にはいる主な魚

メカジキ、マンボウ類



さんま棒受網



釜石魚市場水揚げ 主要5魚種

平成20年度

釜石港 水揚げ TOP 5

1位	さんま	<u>5,962</u> (t)	290,045 (千円)
2位	さば	3,781	
3位	秋サケ	<u>3,376</u>	1,444,828
4位	いか	2,340	
5位	いさだ	2,058	
<hr/>			
	合計	19,584	3,459,654

平成30年度

釜石港 水揚げ TOP 5

1位	さば	2,907 (t)	(千円)
2位	さんま	<u>2,633</u>	481,884
3位	いさだ	1,924	
4位	いわし	989	
5位	秋サケ	<u>427</u>	276,208
<hr/>			
	合計	10,234	1,768,780

わかったこと

- ・ 10年前と比べると、水揚げ数量が大きく減っている。
- ・ 主力漁業である秋サケとさんまが減り、金額も大きく減っている。

甲子のさけ ふ化場見学

岩手県では各河川のふ化場においてさけの稚魚の生産・育成を行い春先に放流している。この取り組みは、秋さけ資源の保護に大きな役割を果たしている。

学んだこと

- ・卵は密着しているとカビが繁殖するため、機械で攪拌している。
- ・稚魚を飼育する際に、水温の高い期間と低い期間を変えて年輪模様のふ化した場所がわかる耳石コードを付けている。海で放流した稚魚を採集し、回遊ルートや各地点への到達時期をみていく。
- ・丈夫な稚魚に育つようエサ工夫している。
エサにはんにくが入っていた！
- ・ふ化、生育のため水温を調整している。
- ・体表面に傷がつかないように密にならないようにしている。

宮古魚市場見学

- ・漁船から市場に魚をおろしているところを見学。大量の魚を次々に運び出すようすを見ることができた。
- ・マダラ、スケトウダラ、キチジ、カレイ、たこ、サメ、スルメイカ、カニ、アンコウなど様々な魚が並んでいた。



まとめ

- ・釜石の海ではいろいろな魚が獲れるが、漁獲量は減少してきている。主力はさんまと秋サケだが、こちらも水揚げが減少してきている。
- ・市場に水揚げされるものは定置網が大半だが、定置網漁は1月後半から5月前半まで休漁で、今の時期は水温が低いため魚が獲れないということだった。
- ・さけの漁獲量回復のための取り組みとして、さけふ化場で稚魚のふ化・育成・放流と耳石コードを付けての追跡調査が行われている。

感想

- ・今回三陸マリンカレッジで講義を受けたほかにも、調べ学習のためいろいろな方から話を聞くことができた。今までなんとなく聞いていた海や漁業に関するニュースも興味をもって聞くようになった。漁獲量の減少、海水温の上昇が気になった。

・ 今後はさけの回帰や海の環境について調べてみたい。

